

平成23年度確かな学力向上のための具体的取組 **評価**

大館市立矢立中学校

ねらい：確かな学力の向上を図る

「確かな学力」		平成23年度の評価指標と実践課題	学校評価 自己評価B
①知識・技能の習得	○	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲をもった学習姿勢 ・学習習慣の定着 ・積極的な課題解決を図る討論や発表の姿勢 	() 昨年 3 (3)
②思考力・判断力・表現力の育成	○	<ul style="list-style-type: none"> ・「考える場」の設定と工夫 ・「考えを伝え合う場」の設定と工夫 ・自己の思いや願いを表現できる学習の場の工夫 	3 (3)
③学習意欲・学習習慣	○	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修会及び各種研修会への参加 ・研修成果の共有と研究の具体的方徹底の工夫 ・小中の日常的な授業交流 ・授業参観による授業力の高め合い 	3 (3)
「確かな授業力」			
④生徒指導の機能を生かした学習指導	○		

共通実践事項	具体的な取組	達成状況	備考等(課題▲, 成果○)
① 学力向上を目指した学校間の積極的な連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常的な授業参観交流の実施及び、授業参観交流強調期間の設定 ・ 小中連携総会での諸検査の分析と、学習の約束の確認 ● 校内授業交流週間の設定、助言提供による高め合い ・ 他校の研究授業や、研究会への積極的な参加と、持ち帰り資料の提供と説明による共有化 	() 昨年 ○ (○) ◎ (◎) ◎ (○) ◎ (○)	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 交流期間内の参観は熱心に行われたが、小学校との時間割が合わず、準備をしたにもかかわらず、参観者がいない提供授業が生じた。 ○ 授業参観者からの助言が次の授業に生かされているケースが多かった。 ○ 研修会参加後の伝達講習が成果を挙げている。
② 「活用する力」を育てるための授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 校内研究会の実施、指導方法改善に向けた情報交換と話し合い ・ 各教科の授業やドリルによる定着の強化 ・ 総合的な学習の時間と関連付けた、応用的、実際の活用場面の設定 ● 弱点となっている基礎的・基本的事項の再指導や復習の機会の設定 	◎ (◎) ◎ (◎) ○ (なし) ◎ (なし)	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 総合的な学習の時間と、各教科の習得事項の関連付けが不十分であり、十分な活用場面が設定されているとはいえない。 ○ 弱点の再指導・復習・補充に関しては、年間を通じて機会・内容ともに十分に実践された。

(● 重要な課題であると考えられる具体的な取組)